



日本獣医師会学会関係情報



日本産業動物獣医学会・日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会

----- 日本獣医師会学会からのお知らせ -----

☆令和元年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会盛會に終わる

令和元年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会は、令和2年2月7日(金)～9日(日)の3日間、東京都千代田区・東京国際フォーラムにおいて開催され、全国から獣医師や獣医学系大学の学生、動物看護師が参加したほか、市民公開シンポジウムは多くの参加者を得て、成功裏に終了した。

本大会では、(公社)日本医師会、厚生労働省との連携により開催したシンポジウム「One Healthに関する連携シンポジウム ～ダニ媒介感染症と予防対策」のほか、市民公開プログラムとして開催した「獣医師の働き方改革, 新たなステージへ ー乗り遅れないためのヒントー」, 「農場 HACCP 認証制度とスマート農業・畜産の推進に向けた管理獣医師の役割」, 「CSF (豚コレラ) 対策として求められる野生イノシシの生態学的・行動学的知見と防疫対応の考え方」では、一般市民を含む多数の参加者を得て大変好評であった。

また、本年次大会では例年に引き続き(公社)日本獣医学会の企画協力をいただいて開催したシンポジウム「動物用サプリメントの上手な使い方」及びシンポジウム「糖

代謝 ～生体機能から臨床まで」を開催するほか、聴講者が重要なテーマに真剣に耳を傾けた。

さらに、大会2日目には歓迎交流会が同会場において盛大に執り行われた。本交流会では、本会の藏内勇夫会長から歓迎交流会主催者挨拶が行われ、続いて、羽鳥裕日本医師会理事から来賓挨拶が行われた後、来賓紹介の後、酒井健夫日本獣医師会顧問の音頭により乾杯を行った。

この他、会期中には学会幹事会議、各学会幹事懇談会等も開催された他、令和元年度 獣医学術賞の発表と授与が行われ、日本獣医師会会長並びに本賞の協賛会社(日本全薬工業(株)、共立製薬(株)、日本ハム(株))から受賞者の代表者に賞の授与が行われた(受賞者等については124頁に掲載)。

なお、次年度の獣医学術学会年次大会は、日本獣医師会の主催により、令和3年1月22日(金)～24日(日)の3日間、兵庫県神戸市の神戸国際会議場等において開催予定である。